

# 第2回四国中央市障害児等福祉審議会会議録

日時 平成27年11月19日(木) 15:00～

場所 消防防災センター3階大会議室

## 出席者名(敬称略)

### 委員

藤枝俊之、山内紀子、東誠、井原佳代、福田裕史、由良芳雄  
井上陽子、立花清香、岸田理恵、森川恵里、高橋秀美

### 事務局

石川晋二、戸田克明、石川光伸、曾我部公恵、篠原由歌、近藤心平、西村麻裕

## 1. 開会

委員長から開会を宣言

## 2. 議事

### (1) 第1回審議会会議録の確認

事務局より説明(内容省略)し、出席委員全員の承認を得た。

### (2) 第1回ニーズ調査部会の報告

事務局より説明(内容省略)

副委員長	ニーズ調査部会は委員だけの部会なのか。クローズではなくオープンで誰でも参加できる部会になるのか。どのような運営方法になるのか。
事務局	特には定めていないので、有効な会になるよう皆さんと考えていきたい。
由良委員	支援学校に対する考え方もいろいろあるが、それぞれの立場や分野でよく知っている人の話を聞いたり、幅広くいろんな意見を出し合える場になればよい。
委員長	ニーズ調査部会においては、今後も多くの方の意見を聞き集約できるよう、有効な会になるよう運営してほしい。 また、事務局には、部会の意見や今回の審議会での意見等を踏まえて、アンケートの素案を出していただきたい。

### (3) (仮称)四国中央市障害児等福祉計画の策定について

事務局より説明(内容省略)

副委員長	行政が仕事をするにあたり、このような計画が重要であることは理解しているが、市民がそれを見ているのかは疑問である。漫画など、市民が見てわかりやすい、形をイメージしやすいものを同時進行で作ってはどうか。
事務局	ご要望があれば作成したい。 なお、計画策定の第一義は、理想とするイメージを、どのように具体化し、どう実践的していくのか、そのための計画であることをご理解いただき、策定へのご協力をお願いしたい。審議会の意見をできるだけ反映したいと考えている。
委員長	趣旨や目的に合うもの、また市民に理解しやすいものを作っていきたい。そのためには、アンケートの検討・集計と進んでいく中で、意見を出し合って進めていただければと思う。
副委員長	どこか他市で参考になるようなところはあるのか。
事務局	児童だけの計画は前例があまりない。それは、各自治体で障害(者)福祉計画を策定しているからだと思うが、本市では、児童の福祉を計画的に実現していくために、実践的な計画を作りたい。前例がないため、ご苦勞をおかけすると思うがよろしくをお願いしたい。
委員長	実践していくために具体的なものを作りたいということなので、皆さんにはそういったご意見を出していただきたい。

#### (4) これまでに把握しているニーズについて

これまでに事務局で把握しているニーズを理解・整理するために、出席委員を2つのグループに分け討議をすることを事務局から提案し、委員全員の承諾を得た。

A班：東委員長・山内委員・井原委員・井上委員・岸田委員・高橋委員

事務局：石川・近藤

B班：藤枝副委員長・福田委員・由良委員・立花委員・森川委員

事務局：篠原・西村

委員長	限られた時間ではあったが、知らないことなどをたくさん聞くことができ、有意義な時間になった。次回もこういった時間をもうけるのか。今回の話を事務局にまとめていただいて検討していきたい。
副委員長	12月の会合で作る予定のアンケートは、資料4と今回のグループ討議をもとに案を作ることだが、可能なのか。
事務局	なんとか形にできると考えている。なお、グループ討議は、有効であり、適宜お願いしたい。

副委員長	事務局が作成したアンケート案をもとに協議し、審議会としての考えを盛り込んでいきたい。
委員長	限られた時間の中では尽くしがたいところもあるので、今回話し合った内容はしっかりと生かしてほしい。
事務局	アンケート案と今回の話し合いをまとめたものを次回整理して報告する。

### (5) その他について

事務局から、生活福祉課より当審議会に対し、四国中央市地域福祉計画策定委員会委員の推薦依頼があり、審議会を代表する東委員長の受諾を得て推薦したことを報告した。

また、次回の審議会を、12月24日(木)15:00～に開催することに決定した。

## 3. 閉会

副委員長	<p>目的は何なのかということが大事。理想とする子ども・保護者の生活や、支援のあり方をイメージしながら、この会を進めていくべきだろう。</p> <p>これから策定する計画は、それを実現するための施策をとりまとめたものになることを理解して発言していただけるよう、雰囲気づくりをしていきたい。</p>
------	--